

地形・地質

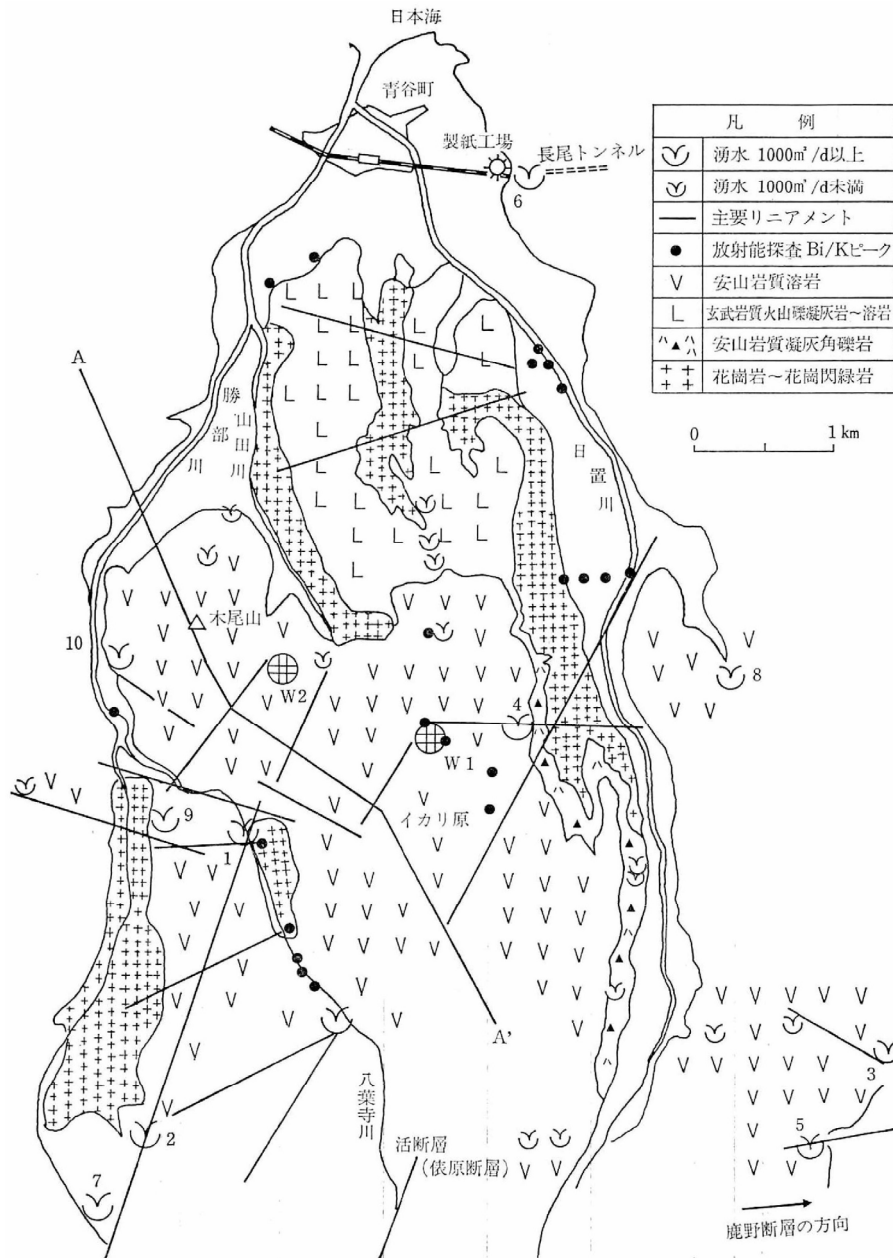
鳥取平野は千代川の下流部に発達する沖積平野、倉吉低地は天神川・小鴨川・竹田川の流域に広がる小低地、鳥取平野と倉吉低地の間の標高 300~500m の台地は気高台地です。

鳥取平野の第四紀の層相区分

	層相区分 (層厚m)	略号	地層と化石	N 値	堆積環境	地 史	時代区分
完 新 世	最上部砂礫層 (10±)	A ₅	砂 礫	N=10~30	千代川旧河道 自然堤防 淡 水	平野の埋積完了	
	上部粘土層 (5±)	A ₄	腐植土 少量の細砂 軟弱粘土	N<6	潟湖末期 湿地帯	海 退 小海進	弥生期
	上 部 砂 層 (2~6)	A ₃	貝がらまじり 挟在砂層	N=5~20	河川, 砂丘 砂丘砂に移化	気温低下クロズ ナ形成 新砂丘 I 形成 水面一時停滞	
	中部粘土層 「古海層」 (20~40)	A ₂	貝がらまじり 軟弱粘土 含水比 33~70%	N<5	内湾的 入 海 海成, 中~ 低域水	海進極大 8,350±180 y.B.P (中海層)	縄文海進時
	中部砂・ 粘土互層 (20±)	A ₁	砂が主 層相変化はげし い 貝化石	粘性土 N=6~15 砂 N=15~20	内湾的静水域 中域水	海面上昇, 不安 定期	
更 新 世	下部砂礫層 (3~20)	D ₁₋₃	上部円礫 扇状地礫層	35<N	旧河床礫層 淡 水	海面低下	ウルム最 盛期
	下部粘土層 (1~20)		砂まじり 植物化石	N=7~25	平野内陸部に堆積 淡 水	海 進 31,200<	リス・ウ ルム間水 期
	最下部砂礫層 (30±)						

地下水

鳥取平野では A3 層と D1-3 が帯水層です。倉吉低地は天神川の氾濫原に良質な伏流水があります。気高台地では、主に鮮新世の火山岩類からなる台地の谷あい、30カ所をこえる湧水があり、中国地方の中でも有数の湧水地帯となっています。



気高台地の水文地質概略図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.iagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）